千西一週

第99号
発行
2022年
9月9日（金）
上田西高校
新聞委員会
編集局

編集局長：藤田珠寿
新聞委員長：辺見咲良

小澤紗也華
樋口　華

元サッカー日本代表

大久保嘉人来校

長所を伸ばし　常に「挑戦」

日本サッカー界きってのストライカー大久保嘉人さんは昨年惜しまれつつも現役を引退した。「試合中はとにかくチームが勝つことと自分が点を取ることを考えていた」と話すが、それは打ち立ててきた数多くの最多記録が証明しているだろう。「長所を伸ばす自主練」がゴールへの嗅覚を鍛えた。「サプライズ選出」と言われた２０１４年ブラジルＷ杯では「試合についてはあまり印象に残っていない」と話すが、Ｗ杯直前のザンビアとの親善試合では試合終了間際に値千金の勝ち越しゴールを挙げ、本戦でも全試合に出場するなど代表において大きな存在感を残した。上田西サッカー部の白尾秀人監督も「相手がどんなに大きくても自分らしく立ち向かってゴールを目指す」と太鼓判を押すプレースタイルは長い間見るものを魅了してきた。

紅白戦でサッカー部女子の選手と競り合う大久保さん　撮影＝辺見　咲良

そんな２人の恩師であり、長く高校サッカー界を牽引してきた小嶺忠敏監督が今年１月に亡くなった。大久保さんは「小嶺監督は怒るとめちゃくちゃ怖かった。高校２年生の時に練習試合で激昂していた監督に呼ばれ怒られるかと思ったら、『お前は弁当を２個食べろ』と言われてほっとしたのを覚えている」、白尾監督は「総体前の練習試合で自分勝手なプレーをしてしまい、『１人の行動と連動して仲間が動いている。11人でサッカーしているんだぞ』と怒られたことは今でも覚えている」とそれぞれ亡き恩師とのエピソードを教えてくれた。

サッカー選手として常に挑戦し続けてきた大久保さんは昨年現役を引退。「今までサッカーしかやってこなかった自分だが、最近はテレビに出ている。新しい道を探して挑戦したい」と今後の意気込みを語った。そんな大久保さんに白尾監督は「頼れる最高な後輩！昔から優しく、情に熱い漢。これからも変わらずにサッカーのみならず頑張ってほしい」とエールを送った。

（藤田　珠寿）

上田西高校の皆さんへ
青春を楽しもう。
自分を信じて頑張って!!
勉強もほどほどに。
大久保嘉人

中央写真・シュートを放つ大久保さん　写真撮影＝辺見　咲良

→大久保さんから西高生へのメッセージ　加工＝樋口　華

◆大久保　嘉人（おおくぼ　よしと）
40歳　福岡県京都郡苅田町出身　身長170cm　体重73kg　国見高等学校（アビスパ福岡／強化指定選手）→セレッソ大阪→RCDマジョルカ（スペイン）→セレッソ大阪→ヴィッセル神戸→VFLヴォルフスブルク（ドイツ）→ヴィッセル神戸→川崎フロンターレ　2013年　2015年史上初3年連続Jリーグ得点王、J1通算最多得点記録保持者（191得点）、J1通算最多シュート数記録保持者（1141本）、J1通算最多イエローカード記録（104枚）　U19～U23日本代表、2003年～日本代表、2010年、2014年W杯日本代表　2021年現役を引退。現在はサッカー解説をはじめ幅広い分野で活躍している。
（辺見咲良）

サッカーの超名門　長崎国見高校で切磋琢磨

８月５日（金）上田西高校のサッカーグラウンドに元サッカー日本代表大久保嘉人さんが登場した。本校サッカー部の白尾秀人監督が高校時代大久保さんの２つ先輩に当たりその縁から本校でのサッカー教室が実現した。

白尾監督は鹿児島県立与論高校に入学したが転校し、当時１年生だった大久保さんとサッカーの名門校である長崎県立国見高校で共に戦っていた。同じチームの先輩である白尾監督を大久保さんは「国見の中でトップレベルの足の速さで、点もたくさん取っていた。足の速さだけは勝てなかった」と評価。高校時代の２人のエピソードを聞くと白尾監督は「寮で与論語とギターを教えていた」、大久保さんは「白尾さんはよくギターの弾き語りをしていて、ギターを教えてもらっていた」とそれぞれ話した。また、大久保さんは、白尾監督から学んだことは「ギター以外は何もない。サッカーで学んだことはない」と笑顔で続けた。白尾監督はＪリーグで活躍後、２００８年に引退。２０１６年からは上田西で指導し２０１８年にはチームを全国３位に導いた。

白尾監督（写真左）と大久保さん（写真右）　撮影＝辺見　咲良

指導者としての白尾監督を間近で見た大久保さんは「ここまで教えるとは。人は変わるんだなと感じさせられた。選手権ベスト４まで行ってるしすごい監督になった」と高校の先輩の活躍に目を細めた。（小澤　紗也華）

選手権に向け確かな手応え

大久保さんは、場所を萬葉の里グラウンドに移し行われた紅白戦を見学し、その後自らボールを蹴りながらサッカー部員達を指導した。現在、数多くの試合を解説する大久保さん。沢山のチームを見てきた上で１番大事な事は「常に楽しみながらプレーをすること」だという。「楽しんでやらないと成長しないし、楽しんでプレーするチームは強くなる」と話した。

大久保さんの指導を受ける前と後でのチームの変化を白石斗夢主将（進学３年＝東御東部）に聞くと「以前は決定力不足で勝てる試合も負けてしまうことがあったが、シュートやゴール前への入り方などを教わる事で少ないチャンスで決め切れるようになった」と話し「大久保選手というスーパースターから実際に教わることで自分達の自信に繋がったと思う」と続けた。大久保さんが滞在したのは約２時間。短い時間ではあったが生徒と談笑する様子もみられ、保護者など含め約２００人分のサインや写真撮影に笑顔で対応していた。

大久保さんは最後に「自分達と白尾先生を信じて頑張ってほしい」と４年間選手権出場を逃している上田西サッカー部にエールを送った。上田西は夏休み中に行われた大会で前回の選手権準決勝で敗れた前橋育英に勝利するなど強豪校との試合でも手応えを掴んでいる様子が伺える。そんなチームの今年のスローガンは「歴史を変える」。４年振りの選手権出場、さらに全国ベスト４以上に向けまずは10月８日（土）の初戦に挑む。

（辺見　咲良）

選手に指導する大久保さん　撮影＝藤田　珠寿